

1. 研修内容

私は3月に28日間、アメリカのカリフォルニア州サンディエゴにある UCSD で週 20 時間、英語の授業を履修した。研修初日にテストによるクラス分けがあり、私は、**Academic English, Pronunciation and Fluency, Listening and Discussion** の3つの授業を履修した。先生はネイティブのアメリカ人なので、授業はすべて英語で行われ、授業中のコミュニケーションもすべて英語で行われた。そのため、英語で分からない単語を、自分の知っている単語を用いて説明する力が付いたと思う。しかし、圧倒的に語彙力が足りないこと、さらに会話するには正しい発音をすることの重要性を実感した研修になったと思う。

2. アメリカでの生活

(1) 買い物

アパートで暮らしていたが、食事の提供などはないので自分で買い物に行き、ご飯を作らなければならなかった。私はアパートのメンバーが日本人だったということもあり、日本食の自炊を頻繁に行っていた。そのためスーパーにも頻繁に行ったが、アメリカではすべてが大きく、量が多く、また、野菜や果物は量り売りのものが多かった。



スーパーだけでなく、他のショッピングセンターでもそうであったが、**buy 1 get second 50%off** というような商品が多く、アメリカの商品の販売の方法も垣間見ることができた。

(2) 交通手段

アメリカは車社会であるので、駐車場が広かったり、道路が片道4車線であったり、高速道路の利用に料金がかからなかったり、車を利用できる環境の人にはとても便利だと思った。しかし、車を持っていない人にとっては、バスしか交通手段がなく、バスも少し不便で観光することに対しては少し不便を感じた。しかし、**Uber** というタクシーのような乗り物のシステムがあり、運転手が見当たらないところもあるが、車を持っていない人への配慮も感じられた。

3. フリータイム



大学の授業は午前中で終わるため、午後からは自由に自分の好きな事ができたし、休日には遠出することもできた。平日は近場の観光スポットや、ショッピング、大学が主催するプログラムなどに参加して過ごした。時には疲れてアパートでのんびり過ごしたりした。アメリカでは日本よりもさらに自主性が求められていると感じた。私は今回の研修では自主性に欠けていたと思い、そこが反

省点の1つであるが、同じ研修でアメリカに行った友達は、100人以上に自ら話しかけ、closing ceremonyの時に、すべての人を引き込む素晴らしいプレゼンテーションを行っていた。それを聞き、自分の意思次第で同じ研修を何倍も何十倍も価値のある、素晴らしいものに変えられることを強く感じたので、これから研修に行く人はぜひチャンスをもものにできるように、積極的に動いてほしいと思う。

4. まとめ

アメリカ研修は、自分がどれだけ日々積極的に過ごすことができるかがカギになると思う。授業は午前中で終わり、それ以外の時間は完全なフリータイムなので、その時間をどのように使うかによって、個人個人が研修で得られるものが変わってくると思う。1か月という期間は、最初は長く感じたが、慣れてきたらあっという間で、私は、買い物など、生活に慣れたところで帰国となった。だから、慣れてから動こうと考えると、時間が足りないと思うので、最初からためらうことなくすべてのことに対して積極的に動いたほうがいいと思った。



これからアメリカに行く人はぜひ積極的に動いて実りある研修にしてほしいと思う。